台風時のタイムライン（案）

2014. 09.02現在

準備期間 いつ Timeline		行動 何を Activity	役割 誰が Who
平常時	99	1 設置時に設定していますが、ヘルツの確認（沖縄は60hzです）	
		2 プロパンガスボンベ式発電機は、長期間試運転をしない状態ですと、起動時にガスがホースを伝ってくるのに、レバー引きを40回以上引かないと、エンジンがかからないです。（定期的に運転要）	
		3 取扱説明書を熟読ください。何度も読んで把握しましょう。説明書は失くさないように、いつでも確認できる場所に保管しましょう。	
		4 発電機は取扱いに色んな条件と技術が必要ですが、自動車を運転するのと同様で、各スイッチなどを覚えて、何度も練習をすれば、上手く活用できます。	
暴風域上陸前	48	5 発電機を移動時はスイッチ、燃料コックなどがオフであることを確認して、保管場所から利用場所へ移動します。	
	48	6 発電機の稼働時間を確認ください。 ガソリンタイプはエコモードで10時間、フルモードで4時間。 プロパンガスタイプ（ホンダ）はLPガスボンベ50Kgので100時間 プロパンガスタイプ（デンヨ）は8kgボンベで16時間。 カセットコンロタイプは、エコモード2時間、フルモールで1時間。	
	24	7 台風の速度と暴風域の長さを計算して、暴風域の時間を予測する。 暴風域の長さを予測したら、その分の燃料の確保を行う。 バッテリーの時間、と燃料時間を計算して、乗り切れそうになければ事前避難を検討する。	
	24	8 エンジンオイルの確認、平坦にして目視確認。（過剰に入れてすぎて故障有）	
	24	9 ガソリン発電機の場合、ガソリンを発電機に入れる際に、あふれさせることがあります。満タンになりそうになったら、ゆっくりと目視確認をしながら補給しましょう。	
	24	10 ガソリンタンクを開ける際には、空気調整弁（ネジ式）を先に回して開けて、充満したガスを放出後に、補給口を開けます。	
	24	11 タバコ喫煙しながらの作動などは危ないです。火気厳禁。	
	12	12 暴風時の外出は危険です。暴風前のエンジン起動が望ましいです。 とはいっても、停電していないのに、燃料消費は無駄となるので、悩ましい課題です。	
	12	13 事前の試運転をしてみます。	
	12	14 無風時の起動時には、排気ガスが家の中に入らないように	

台風暴風域上陸前	12	15	延長ケーブルは最大容量内で使用します。1600W発電の発電機は1200W延長コードを2本で使用します。	
	12	16	雨天時に濡れないようにカッパなどを準備しておく。	
	12	17	運転時間を記録しておいてください。エンジンオイル交換のタイミングを把握する必要があります（初回20時間使用で交換、2回目以降100時間使用毎交換）	
	12	18	始動時には、過労や飲酒、薬物を使用時には行わないこと、判断が鈍って、誤って重大な事故を引き起こすおそれがあります。	
	6	19	発電機から排出される、一酸化炭素ガスは非常に有毒ガスです。 無色、透明、無味、無臭なので判りにくいです。 少量でも重篤な障害をおったり、死亡することがあります。 肺呼吸時に酸素吸入より200−300倍吸着が強いので、脳にも酸素がいかず、重度の脳障害を起こした事例があります。	
	6	20	エンジン起動時に、コンセントを差し込んだ状態で行わない。 起動し安定してからコンセントを差し込む。	
	6	21	コンセントを差し込む際には、電気機器がつながっていないこと。（特に電気機器のスイッチがオン状態の場合、火花がでます故障の原因になります）	
	6	22	感電の恐れがあるので、濡れた手で操作しないでください。	
	6	23	雨天時の起動は発電機が濡れないようにすること。	
	6	24	雨天時に延長コードを伝って、コンセント差し込み口に、水滴が垂れてこないようにすること。	
	6	25	夜間停電時、発電機駆動の際、両手が使えるような照明が必要（ヘッドライトなど）	
	6	26	発電機の排気口（マフラー）は大変高温です。やけどしないようにお気をつけください。	
	6	27	火災の恐れあり、燃料の給油はエンジンを停止してから入れてください。	
台風上陸	0	99	テレビやラジオ、インターネットなどで台風の進路、警報などの情報を入手する。	
停電発生	−n		あわてない。 照明確保、呼吸器（予備電源切り替え）、酸素ボンベなどに切り替え	
	−n		停電発生時間を記録しておく。（バッテリーの稼働時間）	
	−n		暴風による飛散物、ドア開閉時の指切断、漏電による感電（人的被害）	
	−n		周辺の家を見て停電状況を把握しておく。近所が無停電であれば充電援助を求めるケースを想定する。	